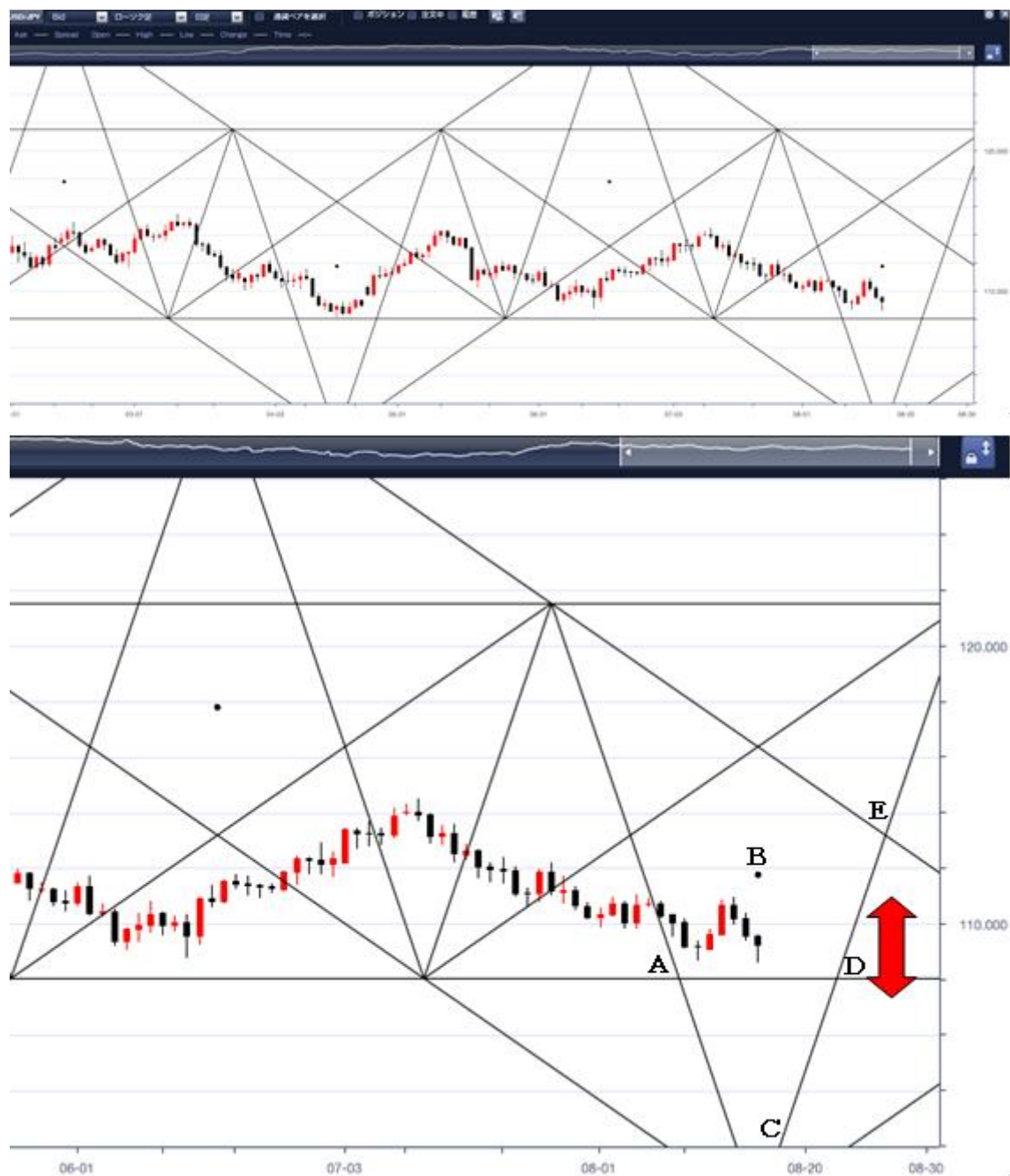


<ドル円>



「流れが変わるのか」

***ドル円日足 ペンタゴンデータ

起点 2014年5月21日

一辺 34日の大きさ

メモリ 24円幅

★★★相場の長期ポイント

下落エネルギーの強い相場である。

下値のメドは **108 円** 前後を考えたい。

上昇エネルギーへの転換のポイントは **111 円** を終値で超えることである。

注目日：8 月 29 日前後である。

● B 点に注目したい。先週末に B 点が位置するペンタゴンのど真ん中の時間帯を到達した。したがって、新しい流れ、すなわち下げ止まることが出来るのか否かがポイントになるからだ。

第 1 シナリオ

軟調な展開が続く可能性はある。A 点が位置する時間帯を通過した後に一度は反発するものの、再び下落に転じ、下値を割り込んできている。また、中心点の B 点の下方を通過していることで、上値は限定的といえるからである。

第 2 シナリオ

下げ止まる可能性も出てきた。B 点が位置するペンタゴンのど真ん中の時間帯を通過することで流れが変わる可能性がある。また、下値支持線 AD ラインが控えている。しかも、その AD ラインの上方で下ヒゲの長いローソク足が出現しているからである。

***ストラテジー

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り（8 月 17 日）	110 円	108 円 75 銭
ポジション変更	110 円 25 銭を超えてきたら、買いポジションに	

***1 ヶ月強の期間にわたる売りポジションであったが、方向感の定まらない状況でしつかりと 3 円以上の値幅を取ることが出来た。

なお、8 月 15 日に 110 円 25 銭を超えて買いポジションに変更したものの、その後に 110 円を割り込み、再び売りポジションになっている。故に、売りポジションは一度解消されたものの、ここでは新しい売りポジションを表示している。

<ユーロ円>



「上値の重たい展開が続く」

***ユーロ円日足 ペンタゴンデータ

目盛 28 円

起点 2013 年 11 月 7 日

一辺 31 日

★★★相場の長期ポイント

上昇エネルギーの強い相場が続いている。

上値のメドとして **130 円 50 銭**前後を考えたい。

下落エネルギーの強い相場に転換するのは **126 円 50 銭**を終値で割り込むことである。

次の注目日は 8 月 24 日である。

● B Cラインに注目したい。下げ止まるのであれば、少なくとも上値抵抗線になっている B Cラインを超えていくことが求められるからだ。逆に言えば、B Cラインに沿って動くことになると、軟調な展開が鮮明になるということである。

第 1 シナリオ

上値の重たい展開が続く可能性がある。上値抵抗線 B Cラインに沿って推移している。B Cラインを超えても B Dラインが上値抵抗線として控えている。そして、B 点が位置する時間帯より下落が鮮明になっているからである。

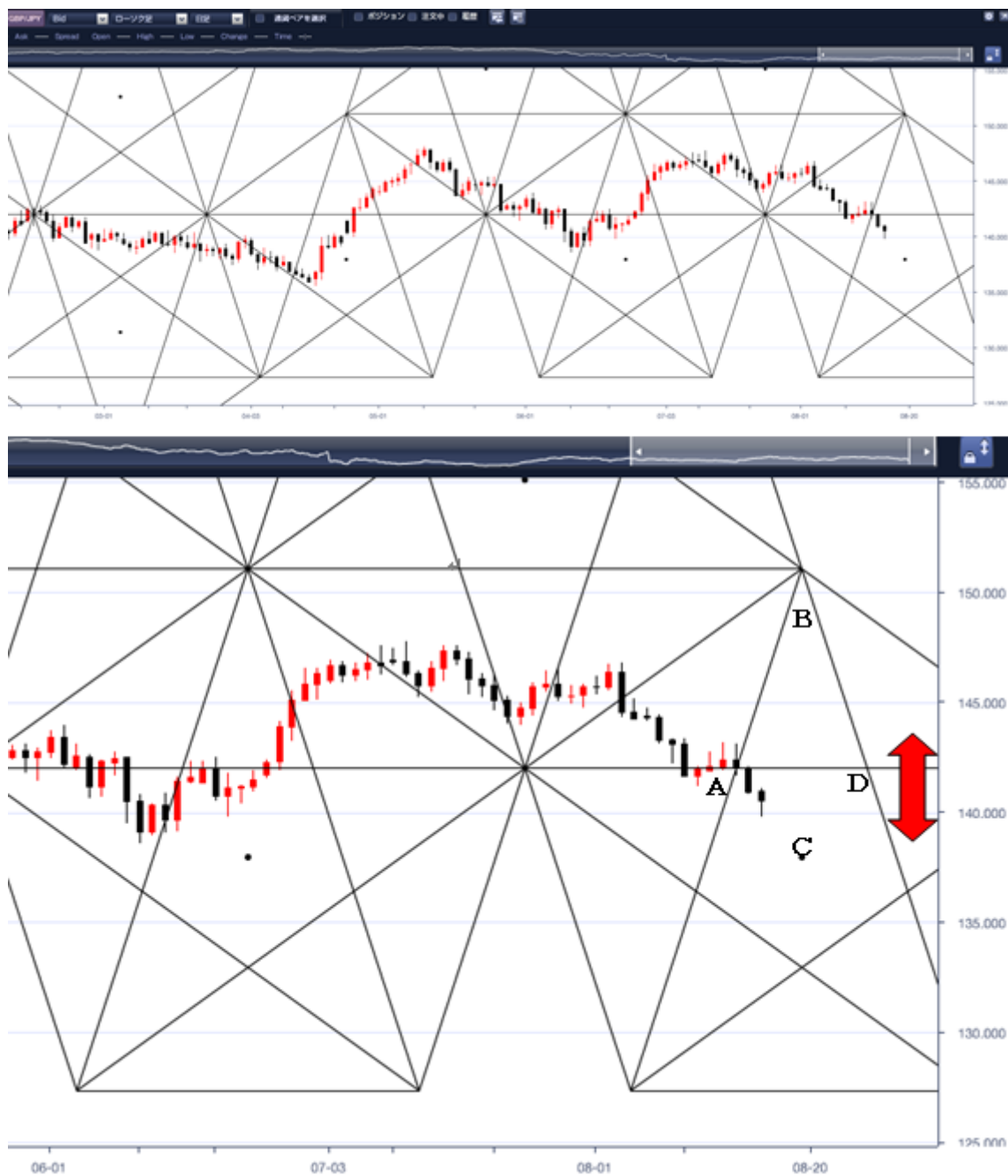
第 2 シナリオ

下げ止まる可能性も残っている。C 点が位置するペンタゴンのど真ん中の時間帯を週央に迎える。また、下値支持線 C Dラインが控えている。そして、先週末には同事線が出現しているからである。

***ストラテジー

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り（8 月 9 日）	129 円	127 円 75 銭
ポジション変更	130 円 25 銭を超えたら、買いポジションに	

<ポンド円>



「下落が止まらない」

***ポンド円日足 ペンタゴンデータ

目盛 30 円幅

起点 10 月 9 日

一辺 27 日

★★★相場の長期ポイント

下落エネルギーの強い相場に転換した。

下値のメドは **138 円** 前後を考えたい。

上昇エネルギーの強い相場に転換するには **144 円** を終値で超えることである。

注目日：8 月 23 日前後である。

● C 点に注目したい。週央に C 点が位置するペンタゴンのど真ん中の時間帯を通過する。したがって、流れが変わるのか否かがポイントになる。また、C 点に情報を通過することが出来れば、下値は限定的となることから、多少の安心感が広がることになるだろう。

第 1 シナリオ

軟調な展開が続く可能性はある。下値支持線 AD ラインを割り込んできた。この後は AD ラインが上値抵抗線になる。また、A 点が位置する時間帯以降も下落が続いているからである。

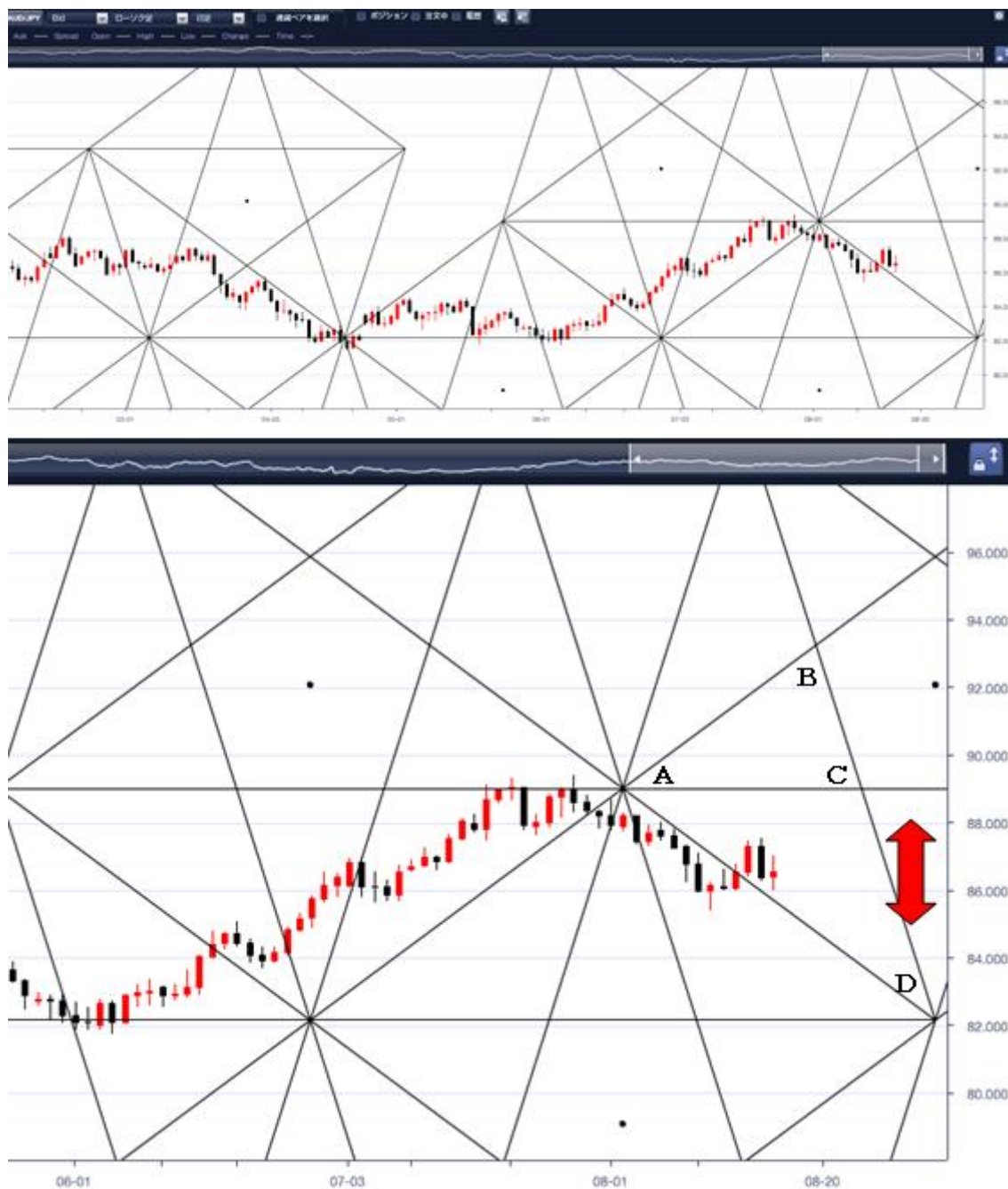
第 2 シナリオ

下げ止まりから落ち着いた動きになる可能性も残っている。C 点が位置するペンタゴンのど真ん中の時間帯を通過する。つまり、流れが変わる可能性がある。そして、先週末のローソク足が下ヒゲの長い足になっているからである。

***戦略

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り（7 月 18 日）	146 円 50 銭	140 円
ポジション変更	142 円 25 銭を超えたら、買いポジションに	

＜豪ドル円＞



「下げ止まることが出来るのか」

***豪ドル円日足

目盛 20 円幅

起点 5 月 14 日

一辺 31 日

★★★相場の長期ポイント

上昇エネルギーの強い相場である。

上値の第1メドは **88 円前後**を考えたい。

なお、下落エネルギーの強い相場への転換のポイントは **85 円 25 銭**を終値で割り込むことである。

注目日：8 月 23 日前後である。

●ADラインに注目したい。右肩下がりのADラインに沿って推移することになると、上値の重たい展開が続くことになる。つまり、このADラインより上方に放れることが出来れば、下げ止まりから堅調な展開になることが期待できる。

第1シナリオ

上値の重たい展開が続く可能性はある。A点を通過した後もADラインに沿っての推移が続いている。上値抵抗線ACラインも控えているからである。

第2シナリオ

下げ止まりから落ち着いた動きになる可能性が出てきた。上値抵抗線ADラインを超えてきた。先週通過した変化日以降、底堅い動きを見せているからである。

***ストラテジー

現在のポジション	ポジション取得時	その後の高値・安値
売り（8 月 17 日）	87 円	86 円 25 銭
ポジション変更	87 円 25 銭を超えたら、買いポジションに	

***8 月 16 日に 87 円 25 銭を超えたことで、買いポジションに転換した。2 週間で約 2 円の利益幅である。しかし、その翌日 17 日に大きく下落したことで、現在は再び売りポジションに転換している。故に、8 月 17 日の売りポジションの表示をしている。

※このレポートは情報提供を目的としており、投資の最終判断はご自身でなさるようお願い致します。本レポートの情報により皆様に生じたいかなる損害については弊社及び執筆者は一切の責任を負いかねます。

本レポートでは、『ペンタゴンチャート』を使って売買システム『ループ イフダン』にも対応の通貨ペアの相場動向を予測します。

ペンタゴンチャートは、トレンドの方向やシナリオ転換レートまでも示唆する テクニカルチャートです。

★ペンタゴンチャートとは★

<https://inet-sec.co.jp/study/technical-manual/pentagonchart/?=pentagon>

チャートでじっくりトレード派のお客様、ほったらかしで自動売買派のお客様も是非ご覧ください。

※今後このメール配信をご希望されないお客様は、お手数ですが当社までご連絡ください。

◆『FX ペンタゴンチャート最強の黄金分割』実業之日本社（刊）

本レポートの著者、川口一晃氏がはじめて FX 取引のペンタゴン分析について記した専門書『FX ペンタゴンチャート最強の黄金分割/実業之日本 社』が好評発売中です。ペンタゴンチャートの引き方や分析方法について詳しく紹介されていますので、よろしければ amazon や最寄りの書店 などでお買い求め下さい。

i-NET TRADER でペンタゴンチャートを描画する場合、起点となるローソク足がチャート上から消えると、追加を含む編集操作ができなくなりますのでご注意ください。

当レポートに記載されている情報は、外国為替及び投資に関する情報の提供を目的としております。 提供するレポートの内容には万全を期しておりますがその内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じたいかなる損害についても株式会社アイネット証券及び 著者は一切の責任を負いません。投資に当たっての最終判断はお客さまご自身でお願い致します。

当社が提供する店頭外国為替証拠金取引（ループイフダンを含む）は、元本や利益が保証された金融商品ではありません。相場変動やスワップポイントの変動により損失が発生する場合があります。レバレッジ効果により、お客様がお預けになった証拠金以上のお取引が可能となりますが、証拠金以上の損失が発生するおそれもあります。個人のお客様の必要証拠金は、各通貨ペアのレートにより決定され、お取引額の 4%相当となります。法人のお客様は、当社が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引額に乗じて得た額以

上の証拠金が必要となります。為替リスク想定比率は金融商品取引業に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを指します。取引手数料、口座維持手数料は無料となります。取引レートの売付価格と買付価格には差額（スプレッド）があり、また諸費用等については別途掛かる場合があります。ループイフダンのスプレッドには投資助言報酬が含まれます。ループイフダンの売買ルールは、システム制作者より開示されたコンセプトであり、必ずしも記載通りに取引が行われることを当社が保証するものではありません。当社は法令上要求される区分管理方法の信託一本化を整備いたしておりますが、区分管理必要額算出日と追加信託期限に時間差があること等から、いかなる状況でも必ずお客様から預かった証拠金が全額返還されることを保証するものではありません。ロスカット取引とは、必ず約束した損失の額で限定するというものではありません。通常、あらかじめ約束した損失の額の水準（以下、「ロスカット水準」といいます。）に達した時点から決済取引の手続きが始まりますので、実際の損失はロスカット水準より大きくなる場合が考えられます。また、ルール通りにロスカット取引が行われた場合であっても、相場の状況によってはお客様よりお預かりした証拠金以上の損失の額が生じることがあります。お取引の開始にあたり、契約締結前交付書面等を熟読の上、仕組みやスリッページ、システム等のリスク及び過去実績は将来の運用成果を約束するものではないこと等を十分ご理解頂き、お客様ご自身の責任と判断にて開始して頂くようお願いいたします。ループイフダンは、当社の登録商標です。

株式会社 アイネット証券

〒100-6224

東京都千代田区丸の内 1-11-1 パシフィックセンチュリープレイス丸の内

ホームページ: <https://inet-sec.co.jp/>

お問い合わせフォーム: <https://inet-sec.co.jp/inquiry/> (24 時間受付)

フリーダイヤル: 0120-916-707 (受付時間 月～金曜日 AM 9:00～PM 5:00)

登録番号：関東財務局長（金商）第 11 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会（会員番号：第 1158 号）、
一般社団法人 日本投資顧問業協会